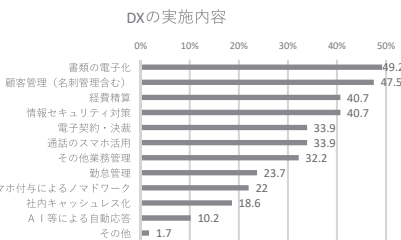


不動産などの中小企業 「DXに取り組んでいる」27%

サクサHDが経営者アンケート

サクサホールディングス(東京都港区)が実施した中小企業の経営者調査によると、「DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組んでいる」

造、販売などを手掛けている。調査は同社が中小企業の経営者を対象に7月21～24日に実施し、218件の回答を得た。回答した企業の業種は不動産、建設、製造、卸売・小売、不動産、サービス、情報通信、金融・保険、宿泊など。



「DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組んでいる」の回答が多く、それぞれ半数近くに達した。人手不足が深刻化する不動産業界では、DXを通じた生産性向上や業務効率化が求められている。「顧客管理(名刺管理を含む)」「情報セキュリティ対策」「勤怠管理」と

「DXで具体的にどんなことを実施しているか」との質問に対しては「書類の電子化」が49・2%と約半数を占めた(複数回答)。

「顧客管理(名刺管理を含む)」が47・5%で続いた。「経費精算」「情報セキュリティ対策」もそれぞれ40・7%と非常に高い比率を占めた。

サクサは中堅・中小企業のオフィスのDX支援や情報通信システムの開発、製

「スマホ活用」、「それとしてあげた。一方の他業務管理」も、それで「DXに取り組んでいない」との回答も72%と比較的高い水準に達した。「勤怠管理」や「PC、スマホ付与によるノマドワーク」も2割以上の経営者がDXで実施している具体的な状況が続いているようだ。